

LIXIL テラスVB 前面スクリーン

取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

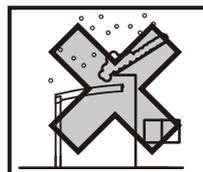
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・みだりに改造・変更しないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
 - ※施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
 - ※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。



お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ・ 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・ 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・ 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・ モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・ 確認申請による設置の場合は、設置場所・現地地耐力度設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

お願い

- ・ モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ・ アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・ 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・ 指定の箇所にシーリングをしてください。水濡れのおそれがあります。
- ・ ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。

※ φ4ネジ : 2.0N・m ± 0.2N・m

※ φ5ネジ : 3.0N・m ± 0.2N・m

お願い

- ・ 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・ 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- ・ スクリーン施工時は屋根にキズを付けないように、養生してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ・ ボルト、ネジを増し締めしてください。緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

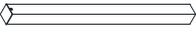
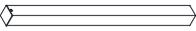
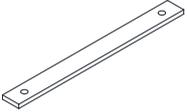
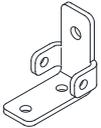
お願い

- ・ 取扱説明書は施主様にお渡しください。

梱包別部品一覧表

部品名称	形 状	名 称							
		長さセット (25)	長さセット (31)	長さセット (37)	長さセット (43)	連棟長さ セット(25)	連棟長さ セット(31)	連棟長さ セット(37)	連棟長さ セット(43)
		数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量
上下棧(25)		2							
上下棧(31)			2						
上下棧(37)				2					
上下棧(43)					2				
連棟上下棧A(25)						1			
連棟上下棧B(25)						1			
連棟上下棧A(31)							1		
連棟上下棧B(31)							1		
連棟上下棧A(37)								1	
連棟上下棧B(37)								1	
連棟上下棧A(43)									1
連棟上下棧B(43)									1
上下棧連結金具						2	2	2	2
トラスタップネジ φ5×10		33	33	33	33	33	33	33	33
ナベドリルネジ φ4×13		47	47	47	47	47	47	47	47
取付説明書		1	1	1	1				

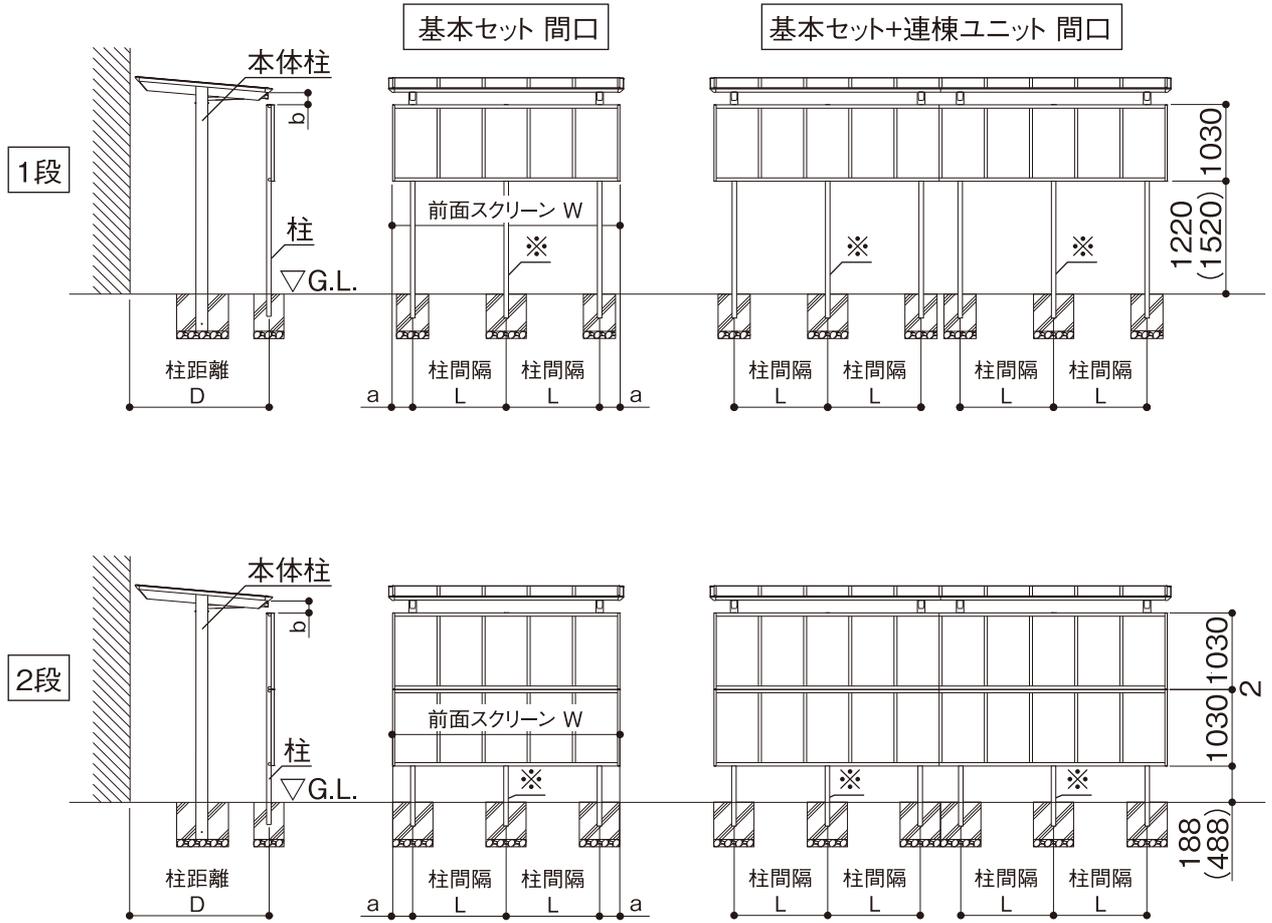
部品名称	形 状	名 称							
		方立セット (25)	方立セット (31)	方立セット (37)	方立セット (43)	連棟方立 セット(25)	連棟方立 セット(31)	連棟方立 セット(37)	連棟方立 セット(43)
		数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量
方 立		3	4	5	6	4	5	6	7
端部方立		2	2	2	2				
端部方立キャップ		4	4	4	4				
端部方立取付金具		4	4	4	4				

部品名称	形状	名称			
		柱セット1段	柱セット長尺1段	柱セット2段	柱セット長尺2段
		数量	数量	数量	数量
柱1段		1			
長尺柱1段			1		
柱2段				1	
長尺柱2段					1
上下棧裏板		2	2	4	4
上下棧取付金具		4	4	8	8
上下棧キャップ		4	4	8	8
トラスタップピンネジ φ5×10		20	20	20	20
ナベドリルネジ φ4×13		20	20	20	20

部品名称	形状	名称		
		パネルセット1枚入	パネルセット4枚入	中間パッキン
		数量	数量	数量
パネル(ポリカ) (10)		1	4	
中間パッキン				3

据付図

()内寸法は長尺を示す。



注1) ※印の柱は、間口(31)～(43)のみに取り付けます。

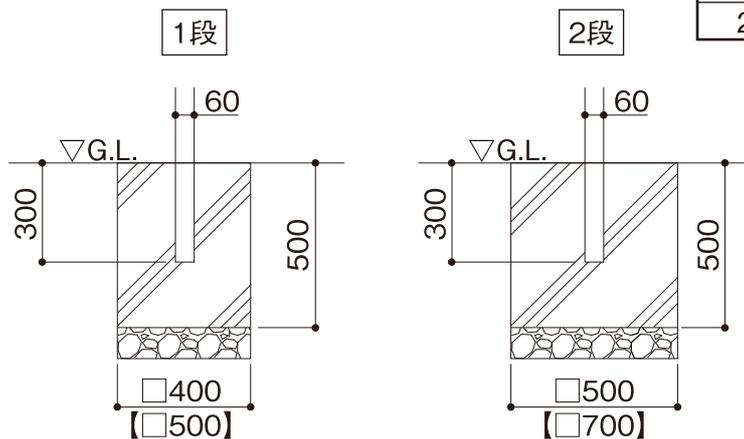
注2) 基礎は現場の状況に応じて、大きさ、深さ等を考慮してください。

注3) 柱間隔Lは間口(25)は2000以下、間口(31)～(43)は1850以下としてください。

■基礎寸法

【 】内寸法は※印の柱基礎

出幅	柱距離D (70+本体出幅DY)	b (本体軒高-スクリーン上)
13	1327	206
15	1610	181
19	1924	162
21	2163	150



間口	柱間隔L	a
25	2000	218
31	1250	270
37	1550	272
43	1850	274

施工の手順

施工は、**1** → **2** … **7** の順に作業してください。

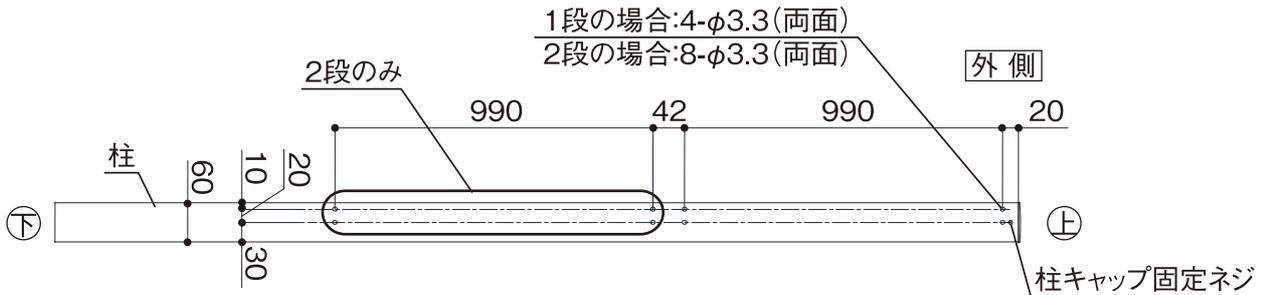
注意

手順が前後した場合、取りつけに支障が出る恐れがあります。

1 柱の加工・埋設

1. 下図の寸法で、両面にφ3.3の穴をあけてください。

〔柱の加工〕



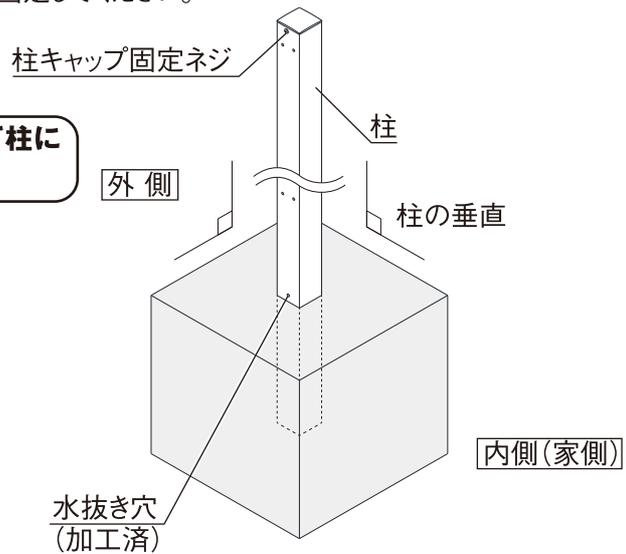
2. 据付図(P5)を参照し、基礎穴を掘ってください。

3. 柱の垂直、柱間隔を確認し、柱が倒れないように仮固定してください。

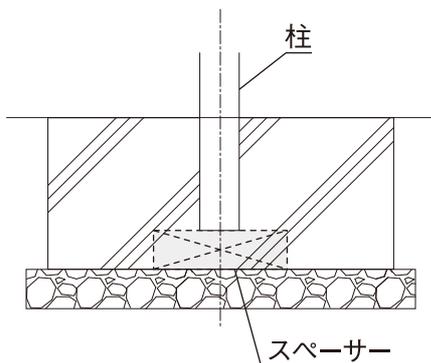
4. コンクリート施工を行ってください。

注意

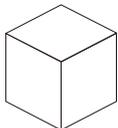
柱を仮固定する際は、あて布等を用いて柱にキズがつかないように注意してください。



コンクリート一体打ちの場合



支柱下部にかぶり厚以上のスペーサーを置く。
スペーサー: コンクリートスペーサー、
鋼製スペーサー等
建築金物店等にて購入可能。

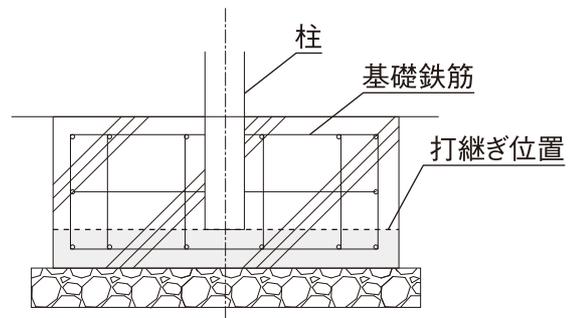


コンクリートスペーサー



鋼製スペーサー

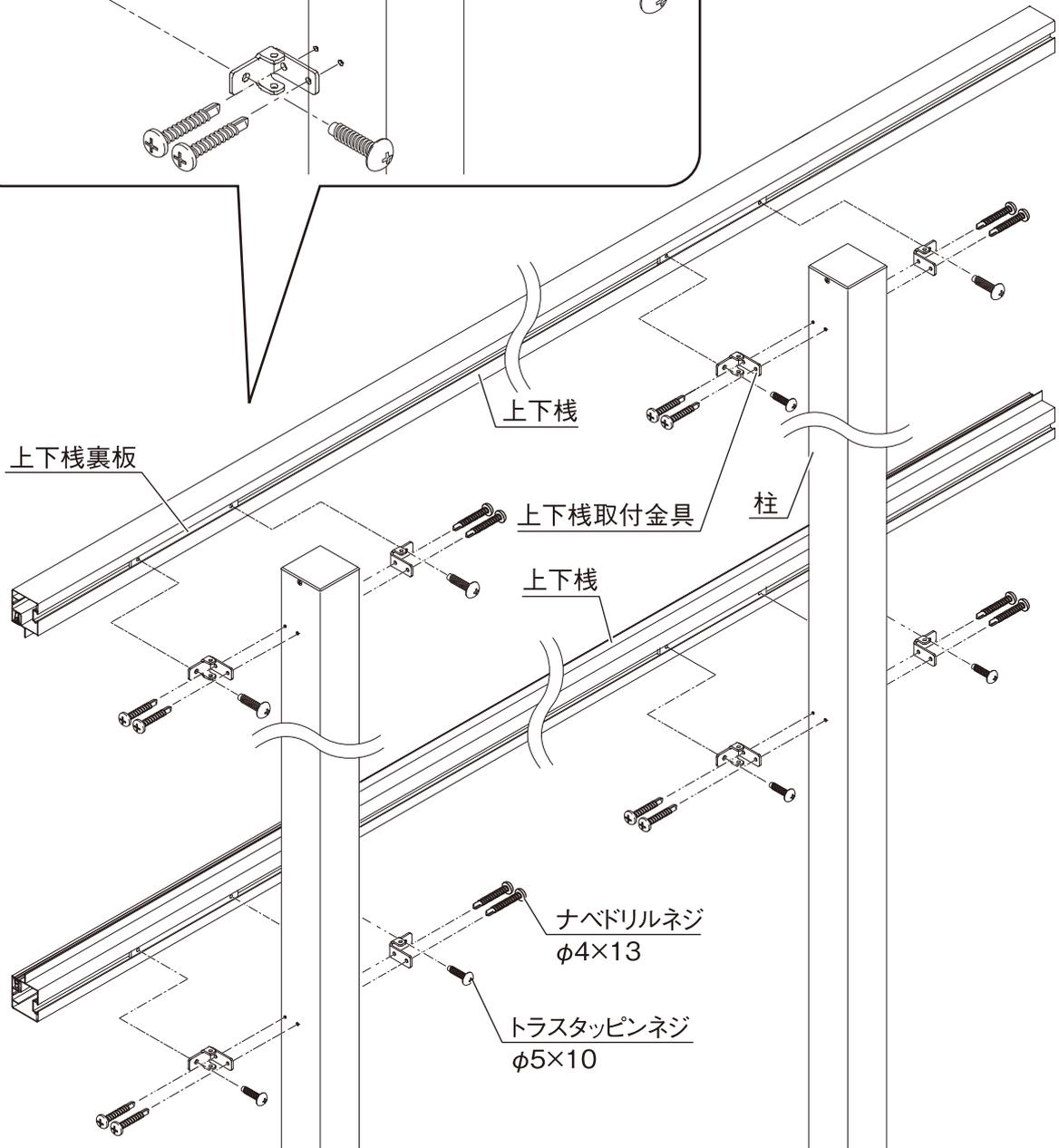
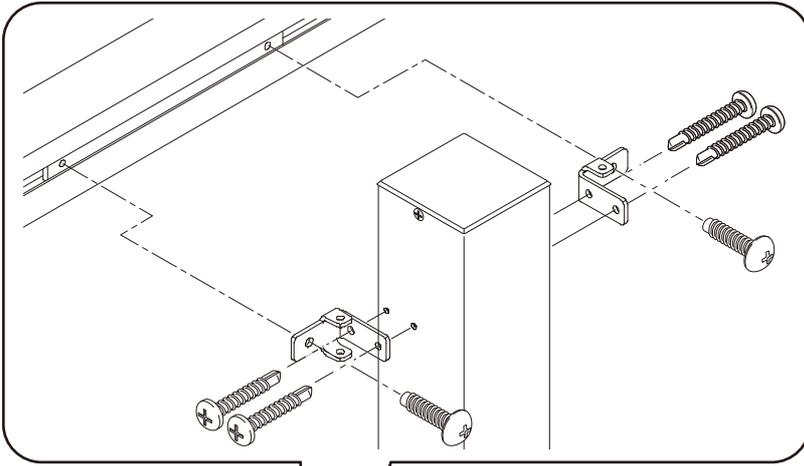
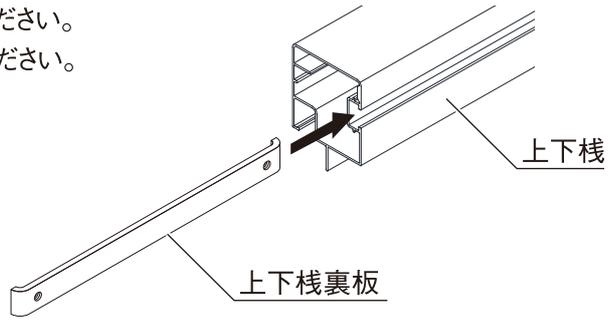
コンクリート打継ぎの場合



基礎鉄筋が連続していれば、打継ぎ施工可能。
上下で基礎鉄筋が独立している場合は、
打継ぎ不可。

2 上下棧の取り付け

1. 柱に上下棧取付金具を取りつけてください。
2. 上下棧に上下棧裏板を差し込んでください。
3. 柱に上下棧を取りつけてください。

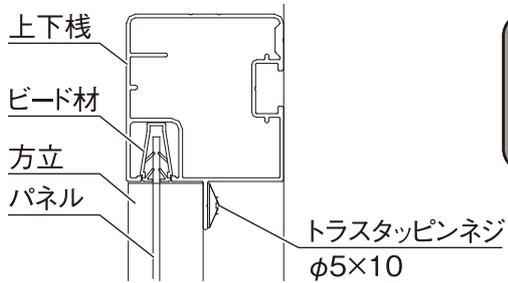


補足 上下棧には上棧・下棧の区別はありません。

3 方立・パネルの取り付け

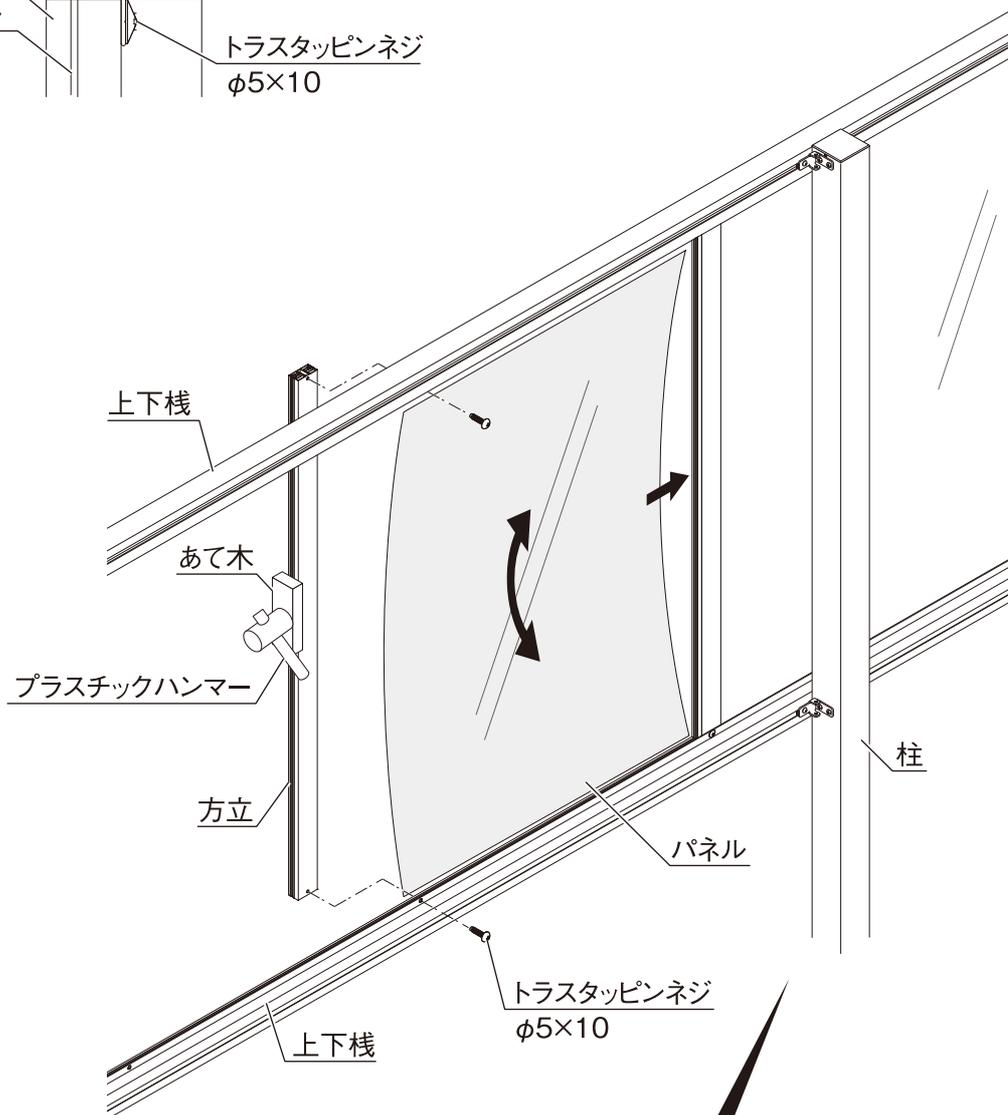
1. 上下棧に方立(1本)を取りつけてください。
2. パネルをたわませて上下棧、方立に差し込んでください。
3. 1、2の作業を繰り返し行ってください。

■取り付け断面図

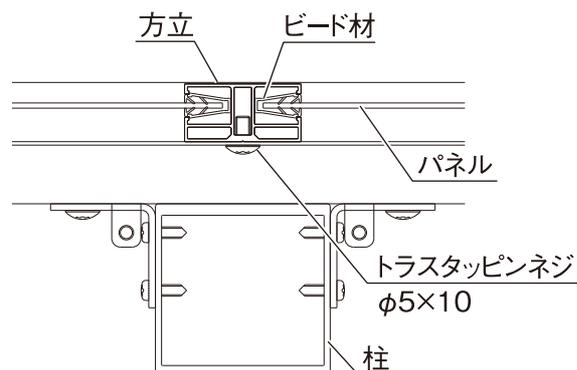


注意 パネルは、凹凸面を内側にしてください。

お願い 方立はあて木などを使用して、しっかりはめ込んでください。
はめ込みが不十分ですと、パネルの耐風圧強度が低下します。



■取り付け断面図

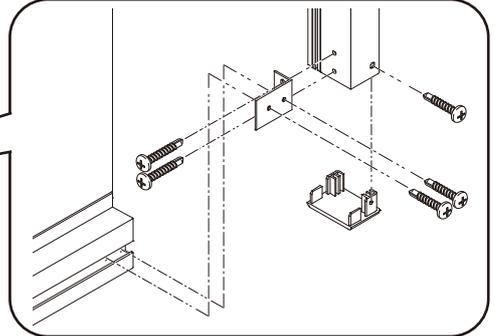
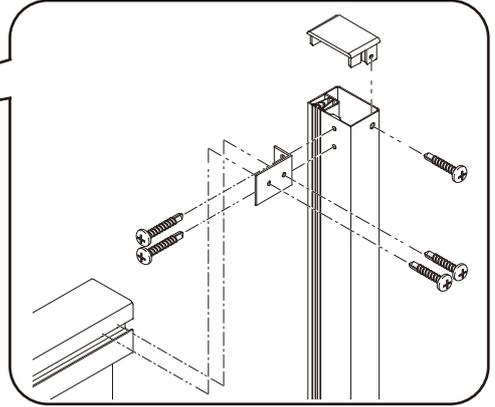
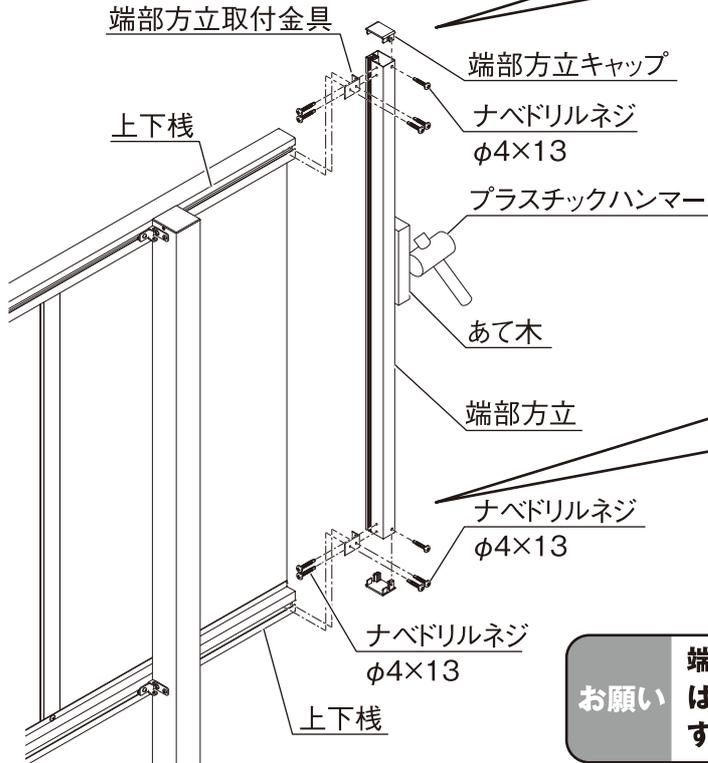


補足

柱と方立の取り付け位置が重なる場合は、いったん上下棧をずらして方立を取りつけてください。

4 端部方立の取り付け

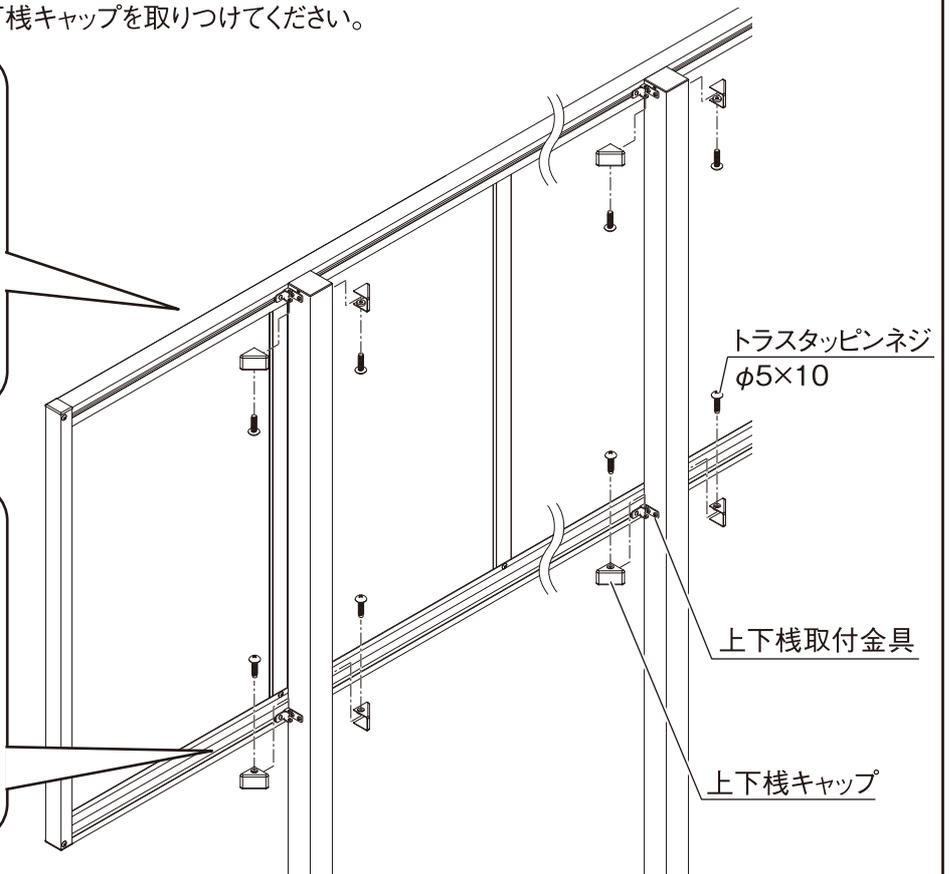
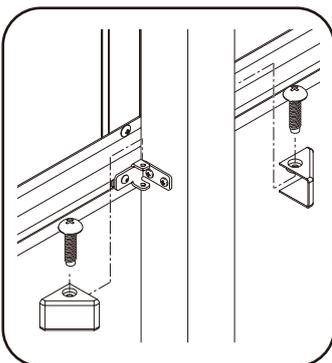
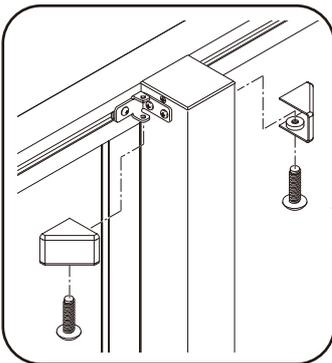
1. 端部方立に端部方立取付金具、端部方立キャップを取りつけてください。
2. 上下棧に端部方立を取りつけてください。



お願い 端部方立はあて木などを使用して、しっかりはめ込んでください。はめ込みが不十分ですと、パネルの耐風圧強度が低下します。

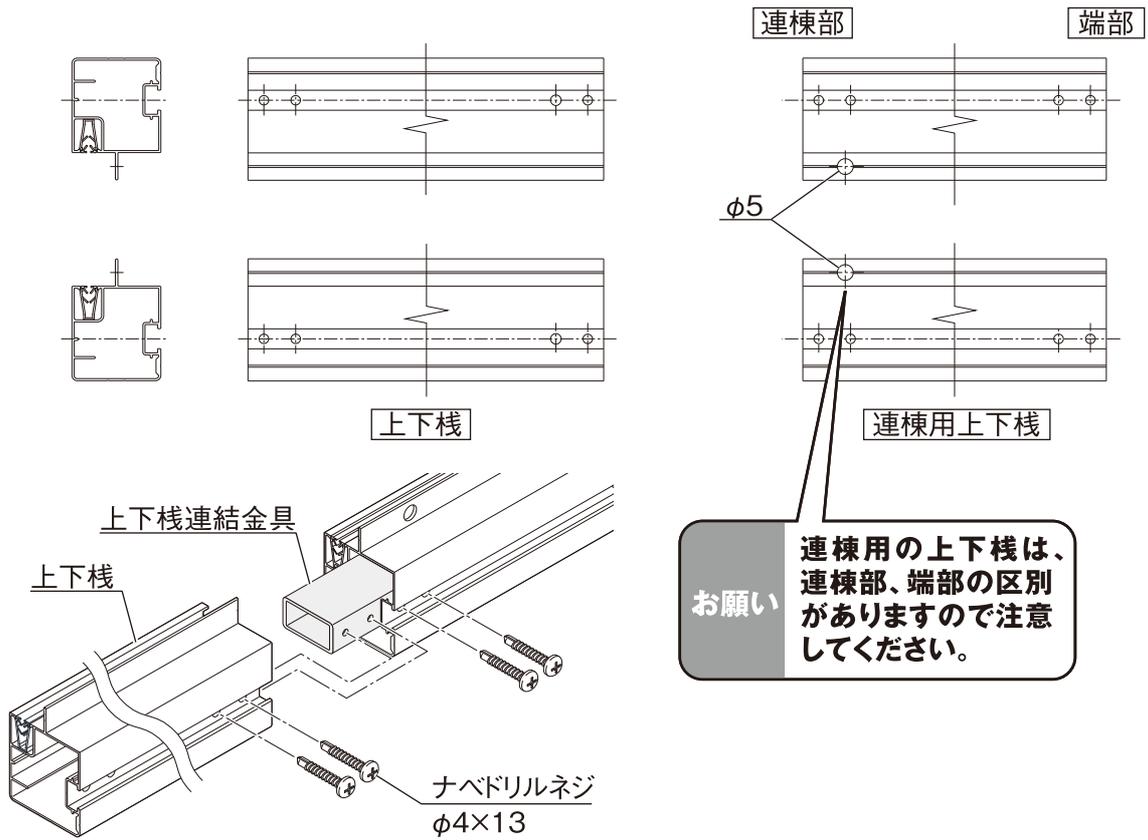
5 上下棧キャップの取り付け

1. 上下棧取付金具に上下棧キャップを取りつけてください。



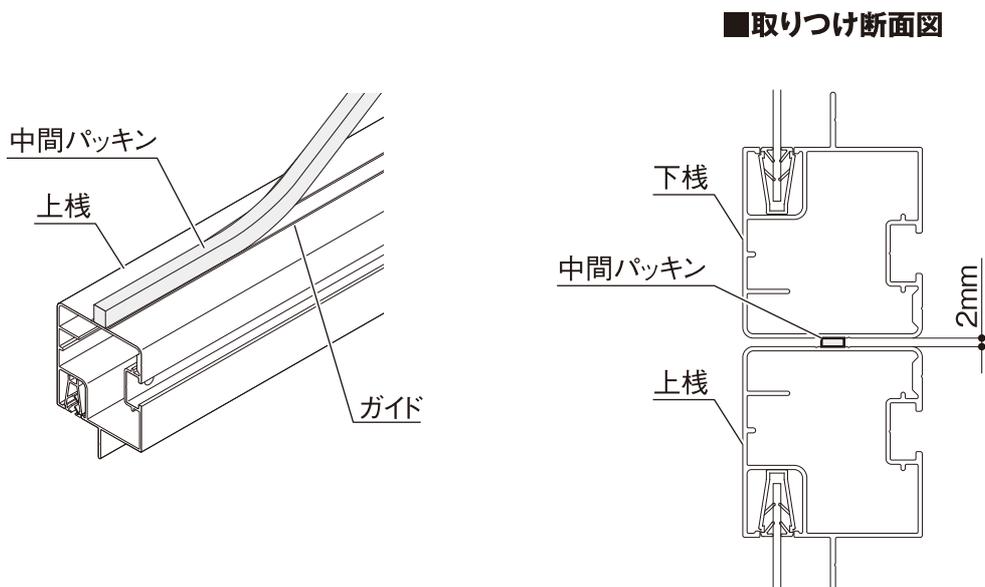
6 上下棧の連結(連棟のみ)

1. 上下棧に上下棧連結金具を差し込み、上下棧同士を連結してください。



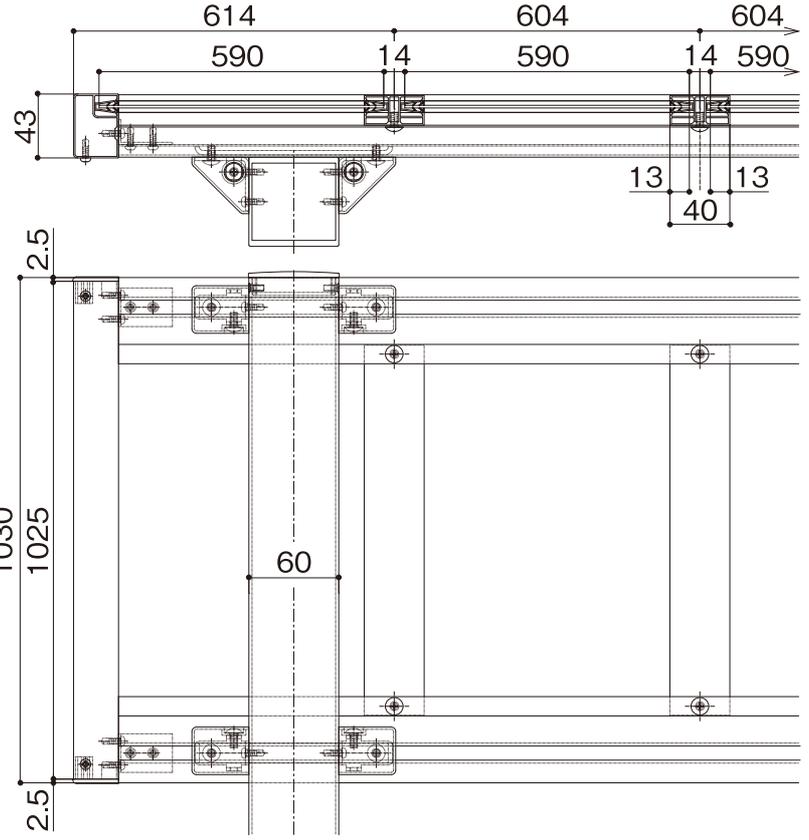
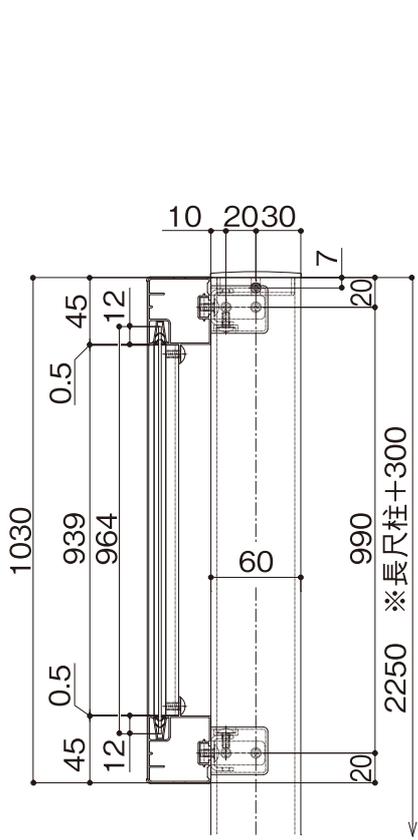
7 中間パッキンの取り付け(2段施工の場合のみ)

1. 中間パッキンを下段上棧のガイドに沿って貼りつけてください。余った中間パッキンは切り取ってください。

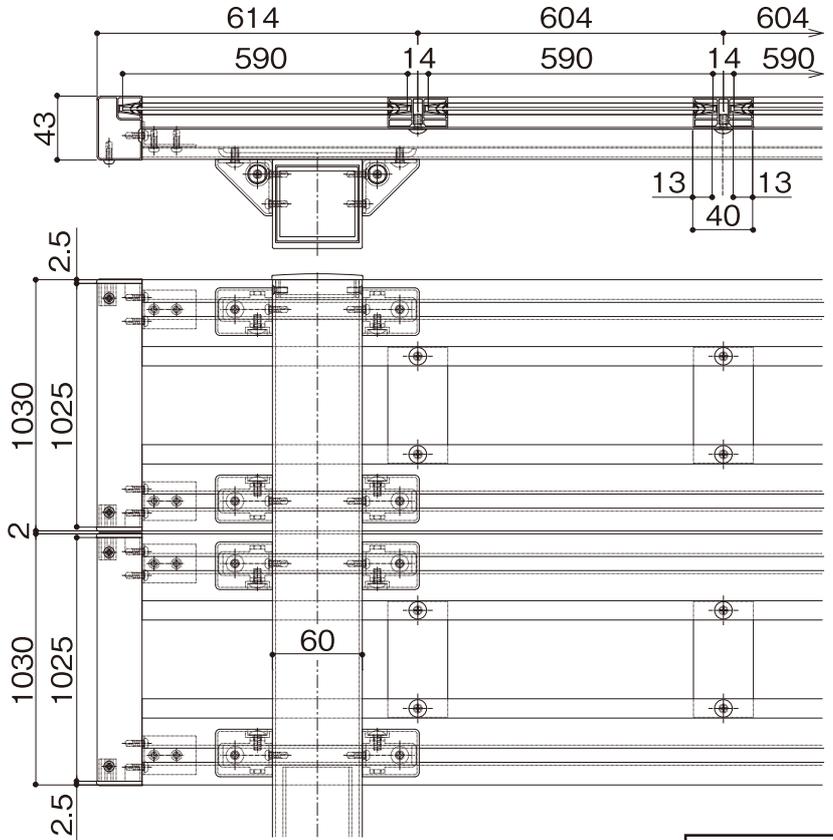
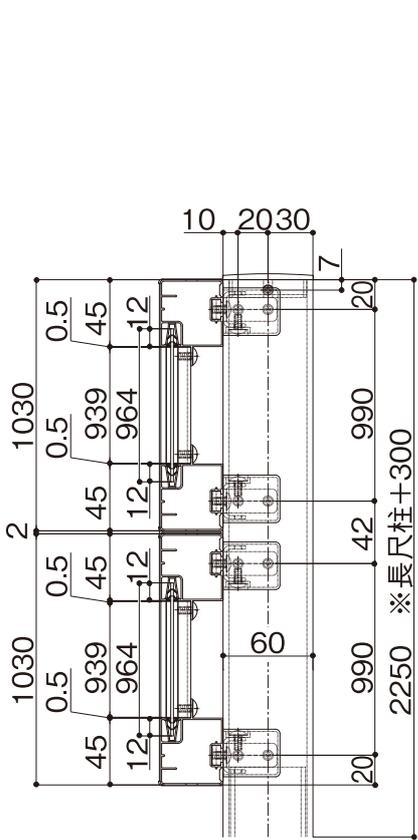


基本寸法図

■前面スクリーン1段



■前面スクリーン2段



取説コード

Z625